

平成27年度病虫害発生予報第7号

平成27年10月2日
愛知 県

普通作物

・予報内容

作物名	病虫害名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ダイズ	吸実性カメムシ類	やや少ない	県全域	9月下旬の発生量はやや少ない	—

果樹

・予報内容

作物名	病虫害名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ナシ	黒星病	多い	県全域	9月下旬の発生量が多い 10月の降水量はほぼ平年並	±
カキ ウンシュウミカン	カメムシ類	平年並	県全域	予察灯における誘殺数は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数は平年並 9月下旬のカキにおける被害果率は平年並	±

・防除対策

[ナシ・黒星病]

落葉は伝染源となるため、適切に処分しましょう。また、10月から11月にかけては、りん片への感染が多くなります。ICボルドー48Qやオーソサイド水和剤80などで秋期防除をしましょう。9月1日発表の「モモせん孔細菌病とナシ黒星病の防除情報」を参考にしてください。

・留意事項

ナシうどんこ病、ブドウべと病の発生量が多いほ場では、落葉を適切に処分し、収穫終了後にナシではポリオキシソルボン水和剤など、ブドウではICボルドー48Qなどで防除しましょう。

カイガラムシ類が発生しているナシほ場では、落葉後にマシン油乳剤を丁寧に散布しましょう。

モモせん孔細菌病の発生量が多いほ場では、来年の伝染源を減らすため、ICボルドー412などで秋期防除を徹底し、発病枝はせん定して取り除きましょう。9月1日発表の「モモせん孔細菌病とナシ黒星病の防除情報」を参考にしてください。

カキの落葉病類が、地域によりやや多くなっています。落葉は伝染源となるため、適切に処分しましょう。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
トマト (施設)	葉かび病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	コナジラミ類	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	黄化葉巻病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並	±
トマト (施設) ナス (施設)	ハモグリバエ類	やや少ない	県全域	9月下旬のトマト(施設)での発生量はやや少ない	－
ハクサイ	べと病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	コナガ	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	± ±
	アブラムシ類	やや多い	県全域	9月下旬の発生量はやや多い	＋
キャベツ	黒腐病	多い	県全域	9月下旬の発生量が多い 強風を伴う降雨があった 10月の降水量はほぼ平年並	＋ ＋ ±
	オオタバコガ	やや少ない	県全域	9月下旬の発生量は少ない フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	－ ±
	コナガ	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	± ±

作物名	病虫害名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
イチゴ (施設)	うどんこ病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	炭疽病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温は平年並か高い 10月の降水量はほぼ平年並	± ± ±
	ハダニ類	多い	県全域	9月下旬の発生量は多い 10月の気温は平年並か高い	+ ±
野菜共通	ハスモンヨトウ	やや少ない	県全域	9月下旬のキャベツにおける発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない	- -

・防除対策

[ハクサイ・アブラムシ類]

アドマイヤーフロアブル、ウララDFなどで防除しましょう。

[キャベツ・黒腐病]

本日発表の「平成27年度病虫害発生予察注意報第3号」を参照してください。

[イチゴ(施設)・ハダニ類]

本日発表の「平成27年度病虫害発生予察注意報第4号」を参照してください。

・留意事項

イチゴでは、炭疽病の発病株を見つけたら抜き取り、適切に処分しましょう。

害虫については、コナガの発生はおおむね平年並ですが、豊橋市のキャベツほ場に設置したフェロモントラップにおける誘殺数が多い状況です。ほ場を見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。また、キャベツほ場に設置したフェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウの誘殺数がやや多い状況です。早期発見、早期防除に努めましょう。また、気温の高い状態が続くと、ハイマダラノメイガの発生が続くおそれがあります。今後の気温の推移に注意して、防除を行いましょう。

花き

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キク (露地)	ハスモンヨトウ	やや少ない	県全域	9月下旬のダイズやキャベツにおける発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない	— —
	オオタバコガ	やや少ない	県全域	9月下旬の発生量は少ない フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	— ±

・留意事項

オオタバコガは例年、10月に発生量が最も多くなります。着蕾期以降に食害を受けると被害が大きくなるので、早めの防除を心がけましょう。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台10月1日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：20% 平年並：40% 高い：40%

〔降水量〕 少ない：30% 平年並：40% 多い：30%

〔日照時間〕 少ない：20% 平年並：40% 多い：40%